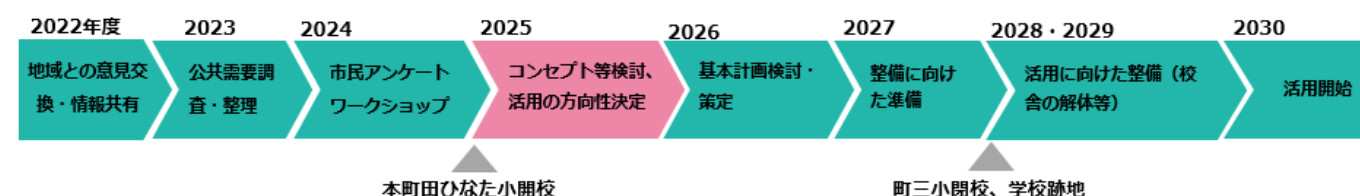


本町田地区の新たな学校づくりで、2028年度に学校跡地となる町田第三小学校の次の活用について、2021年5月に策定した「町田市新たな学校づくり推進計画」に基づく新たな学校づくり基本計画の検討着手と合わせて、2022年度から検討を進めています。

地域との意見交換や2024年度に行った市民アンケート、町田第三小学校跡地活用ワークショップの結果を踏まえ、以下の通りに活用の方向性を整理しました。

1 町田第三小学校跡地活用検討の経緯



2 コンセプト素案

活動でみんながつながれる場
“まちさんプレイス”（素案）

町田第三小学校は、教育活動の場としてだけでなく、地域に住んでいる人の活動の場として、長い間、活用されてきました。

町田第三小学校の跡地は、長い歴史の中で培った地域から愛されているという強みを活かし、さまざまな地域の活動ニーズに対応できる空間に生まれ変わります。

地域に住んでいる人や地域に関わっている人が、気軽に利用でき、そこに行くとホッとできる、そんな空間を「活動」・「交流」・「歴史」・「防災」などのキーワードを通じて、いろんな世代がつながり合える、みんなの居場所（サードプレイス※）を目指します。

※サードプレイス：第三の居場所。家庭や自宅（ファーストプレイス）、職場や学校など（セカンドプレイス）とは異なる公園やカフェ、図書館といった公共的なスペースを指します。

3 “まちさんプレイス”の由来

2024年度市民ワークショップのアイデア

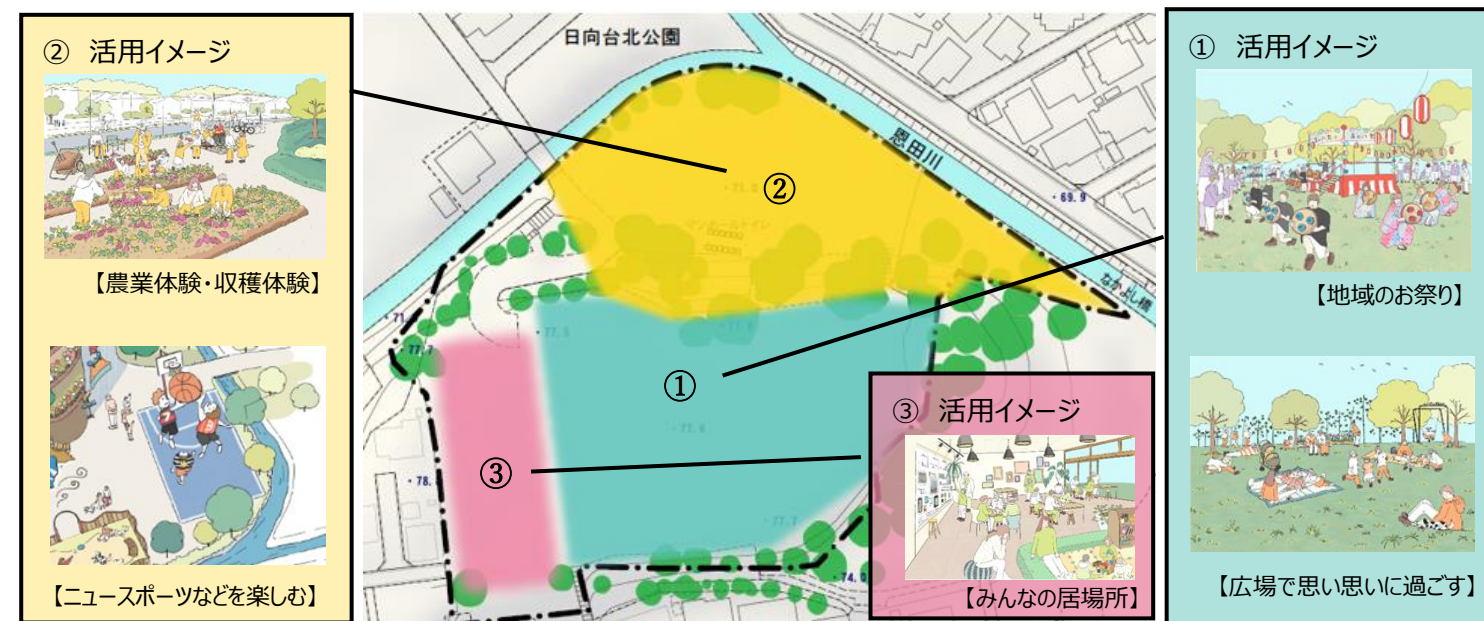
- 体験を通じて世代を超えて「遊べる場」
 - ゆったり過ごそう みんなの居場所
 - 「あ！ここに行こう！」地域のいこいと交流の場
- ～みんなのサードプレイス～

活動でみんながつながれる場
“まちさんプレイス”（素案）
町田第三小学校跡地
地域のサードプレイス

4 災害時の役割：地域の防災拠点（避難施設機能）

町田第三小学校の次の活用においても、引き続き地域の避難施設機能を担っています。避難施設機能に加え、在宅避難者への物資や水道、電気などのライフラインの供給機能、災害情報拠点機能など、災害時においてもみんなが安心できる地域の防災の拠点として位置づけていきます。

5 平時の3つの役割（ゾーニング、活用イメージ）



広場

①：「だれでも自由に使える広場」機能

地域のお祭りや運動会をはじめとした地域イベントがこれまで通り催すことができ、イベント時以外はだれでも思い思いに過ごせる、使い方を限定しない居心地のよい芝生の広場づくりを目指す。

広場

②：「さまざまな体験・活動ができる広場」機能

特徴のある地形を活かしたアクティビティなど町三小跡地ならではの体験ができる場や川からの浸水時にも影響が少ない設えで目的をもった活動（ex: ニュースポーツやドッグランなど）ができる場づくりを目指す。

建物

③：「みんながつながれる地域の居場所」機能

地域に住んでいる人や地域に関わりがある人が地域活動をはじめとしたさまざまな目的で利用でき、みんながつながれる居場所づくりを目指す。また、災害時には地域の防災拠点としても位置付ける。

6 事業化に向けて今後整理が必要なこと

コンセプト素案を事業化するにあたり、地域との調整と並行して、2026年度に予定している基本計画策定に向け、建物の規模、事業概算コスト、事業手法、用途（所管部署）、活用開始までの具体的なスケジュール、管理運営手法などの整理を進めていきます。